

○

現場

事務所内

女性社員による環境衛生パトロール



女性社員による
環境衛生パトロール



取組み内容

店社スタッフの女性社員が作業着に身を包み、作業所の環境衛生パトロールを行っています。女性の目線から衛生環境の指導などを行い、動きやすい職場環境の整備を推進する取組みです。

環境衛生パトロールの頻度は、毎月延べ2日間で、平均5箇所の作業所を対象に実施しています。

点検項目としては、作業に適した照度が保たれているか、廃棄物の分別が適切か、禁煙と分煙、熱中症対策、指定掲示物の確認、作業通路の確保、トイレや手洗い場の清掃状況、勤怠管理状況、グリーン購入品目確認、安全書類の整備状況、CCUSの受入れ対応状況など、多岐にわたります。

パトロールの実施結果については、毎月行われる施工部門の所長会で報告され、各作業所の職場環境について詳細な説明が行われています。

効 果

- ◆女性特有の細やかな視点からの気づきによって、職場環境の改善がより一層効果的になります。
- ◆普段はオフィス勤務で、工事現場を目の当たりにする機会が少ない女性スタッフが、生産の最前線である作業所を訪問することで、チームビルディングが強化され、職場全体のコミュニケーションが向上します。
- ◆女性社員の工事現場訪問により、ジェンダーの多様性が促進され、職場の雰囲気が活気づけられます。
- ◆女性社員の評価と指導が、法令や規制に対する企業の遵守を強調し、職場の合法性確保に役立ちます。
- ◆この取組を実施することにより、以前は全く顧みられることのなかった女性作業員専用仮設トイレの普及が、現在では対象作業所の78%にまで達するなど、職場環境の質の向上に寄与しています。
- ◆作業所の所長からは「異なる着目点による指摘に、毎回新鮮な驚きがあります」との評価を得ています。

留 意 事 項 / そ の 他

工事現場は危険が伴う場所であるため、女性社員が訪問する際には安全対策が必要です。十分な安全装備や、安全に関する予備知識、および現場社員のアテンドが提供されなければなりません。また、異なるジェンダーの社員間でコミュニケーションが円滑に進むよう、お互いの配慮が重要です。女性社員に対しては、文化や価値観の違いを理解し、配慮と尊重をもって接することが必要です。